

西成東中図書館だより

一宮市立西成東部中学校

11月号

2024年11月発行

朝晩の気温はぐっと下がりましたが、昼間は過ごしやすい季節になりました。先日の読書週間では思うように本が読めましたか？日が落ちるのが早くなり、夜が長く感じられるときに読書をするのもよいかもしれません。また、3年生に限らず今後の進路に役に立ちそうな本もあるので、気軽に図書館に足を運んでください。



11月の休館日



6日(水) 合唱祭

15日(金) 期末テスト

【司書のひとりごと】

11月30日は絵本の日です。

みなさんが最後に絵本を読んだのはいつですか？

思い出の絵本、お気に入りの絵本はありますか？

絵本はこどもの読みものだと思っているなんて、もったいない！

私のおすすめは、自分に優しくなれる『ぼくモグラきつね馬』、

自ら真実を知ることの大切さを教えてくれる『二番目の悪者』





第36回読書感想画中央コンクール指定図書5冊が図書館入口近くの感想画指定図書コーナーに配架されています。みなさんの素敵な作品をお待ちしています。

◆ 夜空にひらく いとう みく 作

暴力事件を起こし試験観察処分となった、鳴海円人。補導委託先は、煙火店を営む深見静一の家だった。深見と深見の母、住み込みで働く双子の花火師らと同じ屋根の下で暮らすうちに、円人は自分の居場所を見つけていき…。



◆ リラの花咲くけものみち 藤岡 陽子 著

獣医師を志した聡里は、北農大獣医学類に入学し、学業や動物病院でのアルバイトに奮闘する日々。伴侶動物の専門医を目指していたが、馬や牛など経済動物の医師のあり方を目の当たりにし…。



◆ 死の森の犬たち アンソニー・マゴワーン 作・尾崎 愛子 訳

チェルノブイリの原発事故で生き別れになった子犬のゾーヤと飼い主の少女ナターシャ、そしてゾーヤの子ミーシャの運命は？ 野生のオオカミやクマ、ヤマネコの住む原生林を舞台に、いま、冒険が始まる！ 新感覚の動物文学。



◆ レッドリスト・プラネット 野生生物を守り、地球を救うために わたしたちにできること

アンナ・クレイボーン 作・大山 泉 訳・千葉 和義 監修

絶滅した野生生物は、もう戻ってこないのか？

なぜ、このようなことが起きているのか？

人間の営みとからめて、生物種の発生や歴史、現状を説明し、これからできることを考える。



◆ 深海ロボット、南極へ行く 極地探査に挑んだ工学者の700日

後藤 慎平 著

子どものころからの憧れの世界“南極”で活躍するロボットの開発依頼。水中探査ロボットの工学者が、難題をクリアしながら日本初の南極湖沼用ROVをつくりあげ、みずから南極に赴き潜航させるまでの日々を描く。

